

テーマ「今は、過去と未来を指し示す羅針盤」

小さな人生論 2 「過去が咲いている今、未来のつぼみで一杯な今」陶芸家河井寛次郎氏の言葉が紹介されている。

この言葉は未来への勇気と与えると同時に、過去どう生きてきたかの反省を促すことばでもある。

今起きていることは、実は過去の生き方の積み重ねであり、現在咲いている花の出来栄は、過去、自分の心の花畑をどれだけ美しく管理したかにかかっている。人は、生きている限り様々な悩み、欲望が表れてくる。生きているということは、そういうことでもあるから、それ自体は肯定すべきであるが、毎日芽が出る雑草(マイナスの思い)を抜かずに荒れ放題にすると心の花は咲かず、雑草に覆われる。毎日反省という時間を持ち、心に芽生えた雑草を引き続けると、心の花畑は雑草のないきれいな花が咲く花畑となる。

未来は変えることができる。今の自分の花(環境)が満足できないとしたら、過去を反省し、未来に向けて毎日心に生える雑草(マイナスの思い)を引き続けることである。未来は必ず美しい花畑となるに違いない。人生を幸福に導くものは実はそのことを知り、毎日静かに自分振り返る時間を持つことである。